

第197回教育研究評議会議事要録

1 日 時 令和元年12月20日（金）15：30～16：42

2 場 所 事務局第1会議室

3 報告事項

(1) 「国立大学改革方針」を踏まえた国立大学との徹底した対話の実施に向けた本学の将来構想と今後の取組に係る調書について

理事（総務担当）から、資料1に基づき、「国立大学改革方針」を踏まえた国立大学との徹底した対話の実施に向けた本学の将来構想と今後の取組に係る調書の内容について、報告があった。

資料1の「長崎県の大学・学部偏差値一覧」に、環境科学部（理系）の記載がないとの意見があったため、対話の場で補足することとなった。

(2) 平成30年度に係る業務の実績に関する評価結果について

副学長（計画評価担当）から、資料2-1～資料2-5に基づき、令和元年6月末に国立大学法人評価委員会に提出した「平成30事業年度に係る業務の実績に関する報告書」について、同評価委員会から評価結果が通知された旨の報告があった。

(3) 本学所属論文の積極的引用に関するお願いと調査協力について

理事（研究・国際担当）から、資料3に基づき、KPI（重要業績評価指標）の「特定分野の論文ランキング上位維持」平成30年度実績評価が低く、令和2年度の予算配分が減額されることとなったため、令和3年度以降の予算を確保するために、本学から発表された論文の被引用数を増加させることについて、協力依頼があった。

(4) 高等教育の修学支援新制度について

理事（社会連携・学生担当）から、資料4-1及び資料4-2に基づき、令和2年4月から高等教育の修学支援新制度が開始されることに伴い、本学が機関要件の認定を受けたこと及び現行制度では支援の対象であったが新制度では支援の対象とならなくなる学生の救済措置等の対応について、今後の課題を含め報告があった。

(5) 大学入学共通テストにおける記述式問題の導入見送りについて

副学長（入試担当）から、令和元年12月17日（火）に萩生田文部科学大臣の閣議後記者会見にて、大学入学共通テストにおける記述式問題の導入の見送りが発表されたことについて、報告があった。

(6) 大学入試過去問題活用宣言への参加について

副学長（入試担当）から、資料5に基づき、令和元年10月25日開催の教育研究評議会にて審議、了承された本件について、幹事大学（岐阜大学）から参加手続きが完了した旨の連絡があったこと、本学入試情報サイトに入試過去問題活用宣言に参加する旨を掲載したことについて、報告があった。

(7) 佐世保地区高等学校訪問について

副学長（高大接続・入試広報担当）から、資料6に基づき、佐世保地区の3つの高等学校を訪問したこと及びその概要について、報告があった。

(8) 内閣府「研究力の分析に資するデータ標準化の推進に関するガイドライン」に係るデータ提供について

理事（総務担当）から、資料7-1～資料7-4に基づき、内閣府におけるEBPM（Evidence-based Policy Making）への取組に関し、政府内の科学技術関係予算配分の見える化を図る目的でエビデンスシステムが構築されることに伴い、本学の研究活動に関わる各種データを内閣府へ提供することについて、報告があった。

(9) 「大学SDGs ACTION! AWARDS2020」について

副学長（国際交流担当）から、追加資料1に基づき、国際協力機構（JICA）大学連携課から周知依頼のあった「大学SDGs ACTION! AWARDS2020」について、報告があった。

以上